

ハラスメントを考える

【ハラスメント】
相手に対して行われる「嫌がらせ」のこと。

先日、体操競技のある選手が受けた「パワーハラ（パワーハラスメント）」が認定されなかった、というニュースがありました。

「ハラスメント」という言葉が広がり始めたのは1980年代後半。「セクハラ（セクシャルハラスメント）」が最初といわれています。ハラスメントといってもその種類は多く、現在はハラスメント自体を気にする「ハラハラ（ハラスメントハララスメント）」という言葉まで出てきて

います。気にしたら何もできなくなる、ということでしょう。

ハラスメントは必ずしも職場だけに限定されるものではありませんが、「社会のいじめ」ととらえられ、現に裁判でも争われています。

ハラスメントは、大人が解決しなければならぬ人権問題です。しかし、生徒もハラスメントについて学習することは、有意義なことではないでしょうか。将来、社会に飛び出していく生徒にとって、もしも自分がその身に置かれ、自分の人権が侵害されたときに、自分から声を上げるスキル（技能）を身に付ける必要があるからです。そ

【ハラスメントの種類】

- セクシャルハラスメント
- セカンドハラスメント
- パワーハラスメント
- モラルハラスメント
- アカデミックハラスメント
- マタニティハラスメント
- アルコールハラスメント
- カラオケハラスメント
- スモークハラスメント
- ブラッドタイプハラスメント
- カスタマーハラスメント
- テクノロジーハラスメント
- エイジハラスメント
- マリッジハラスメント
- シルバーハラスメント
- 就活終われハラスメント
- 家事ハラスメント
- レイシャルハラスメント

現在、最低でも35種類！

これは今でも必要なスキルです。「大人になってもそんなイヤなことがあるなんて」……そんな悲しいことを子どもから言われ

れたくはありません。私たち大人がハラスメントの問題を解決できるよう、人権感覚を磨いて見本を示したいものです。

「人権標語」展示中！

12月9日(日)のバザーは大盛況でした。皆さん本当にお疲れさまでした。さて、その中で「人権標語」を展示しましたが……お気づきになったでしょうか。そう、体育館入口にありました。

今年度は全校生徒に呼びかけて、316点の作品が寄せられました。

標語を考えるのはとても難しいことですが、それでも1人で2点、考えてくれた人もいました。とてもうれしいことでした。

現在は職員室入口に展示しています。また、冊子は事務室受付にも置いてありますので、中学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。

2018年も残すところわずかとなりました。皆さん、よいお年をお迎えください。



【ご家庭から】学級担任にお渡しください。

年 組／お名前

(ペンネームでもO.K.ですよ！)

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか？ (○ ・ ×)